

島田市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

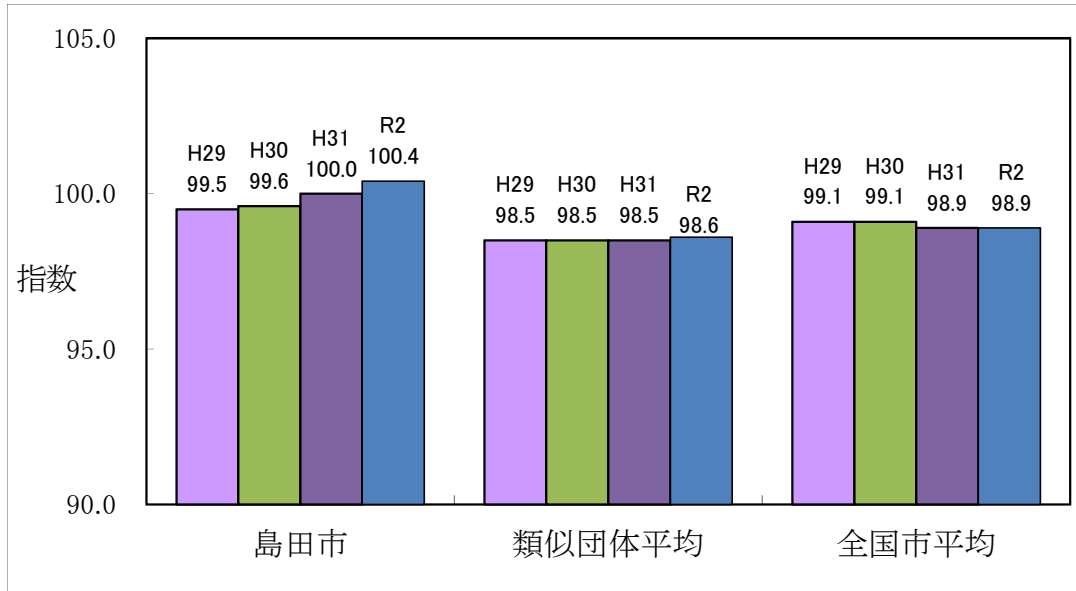
区分	住民基本台帳人口 (令和2年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成30年度の人件費率
令和元年度	人 98,982	千円 40,648,503	千円 845,602	千円 5,308,095	% 13.1%	% 13.6

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与費 B/A	(参考) 類似団体 平均1人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和元年度	人 630	千円 2,110,597	千円 349,126	千円 823,295	千円 3,283,018	千円 5,211	千円 5,936

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は平成31年4月1日現在の人数である。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
2 () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)
3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※ 令和2年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇した場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

令和2年4月1日のラスパイレス指数が、3年連続上昇している理由については、高卒30～35年区分の職員で職位が高い職員が多くなっていること。55歳超の職員における昇給停止を行っていないため、毎年成績不良でない職員は2給号昇給していることで指数の増加の要因と考えられる。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

① 給料表の見直し

[実施 未実施]

- ・ 行政職給料表及びその他給料表について、国の見直し内容を踏まえて全体で2%引き下げ（平成27年4月1日実施）
- ・ 激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

(5) 特記事項

平成17年5月5日に島田市、金谷町が合併（新設）した。
平成20年4月1日に島田市、川根町が合併（編入）した。